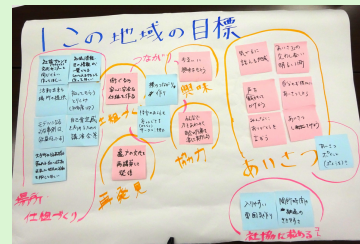


# 第3回城東北部 報告書

# まちづくり 話し合い ひろば

2023. 9. 20  
総合区民センター  
13:30~15:30

参加者19名



「まちづくり話し合いひろば」では、日頃から感じている地域の福祉課題や強みを念頭においていただきながら、「福祉のまちづくり」のアイデアを出し合います。そのアイデアを第5次地域福祉活動計画の中に盛り込むことで、実際の活動へとつなげ、広げていくための機会とします。

## ワークショップ

# あつまる！つながる！やってみる！



### 地域の活動目標 主な意見

- ・ 勇気を持って声をかけ、あいさつしよう
- ・ みんなにありがとうを言う
- ・ お互いに興味をもとう
- ・ 街ぐるみで安心安全な仕組みを作ろう
- ・ 亀戸の文化を再構築して発信しよう
- ・ 小学校と地域の交流
- ・ 外国の方とコミュニケーションをとろう
- ・ 外国の人たちとの共存を実現
- ・ 困ったことがあったら助け合おう
- ・ 自分たちの町を大切に想おう
- ・ ゴミ拾い活動を積極的に行おう（大谷活動）
- ・ 誰もが集える居場所を作ろう
- ・ 障害者も認知症の方も社会参加できるまちにしよう
- ・ みんなで力を合わせて町会の行事を楽しく実行しよう

## 社協に期待すること 主な意見

- ・ 異文化、多世代等の居場所を作ってほしい
- ・ 海外の人々の生活文化や言葉を学ぶ場
- ・ 社協がもっと身近になるように、認知度を上げてほしい
- ・ 社協事務所の雰囲気明るく入りやすい雰囲気にして欲しい
- ・ 地域の多様な人に情報が届く仕組みを作って欲しい
- ・ 地域活動のきっかけ、知り合うきっかけ、知ろうと思うきっかけ等、様々なきっかけ作りをして欲しい
- ・ 地域の保育園、幼稚園、学校などと連絡を取り、ボランティアに参加してほしい
- ・ つながりを作る情報発信をしてほしい



- ・ 社協をもっと地域にアピールし、会費をもっと分かりやすいものにして欲しい
- ・ 社協と地域のネットワーク
- ・ 財政面で社協の力を借りたい
- ・ あいさつポイント活動（ポイ活）
- ・ 障害のある方も参加できるサークル活動など  
つなぐ役割を担ってほしい

地域福祉活動計画策定委員 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 岡田哲郎 講師



このひろばを3回行ってきた意味について考えていた。現代で地域でつながることはなかなか現実的ではない中で、その共同の作法、つながる工夫を皆さんが手繰り寄せようとしてきた経験だったのかなと思う。過去この地にあったやり方・形を引きあげようとしてこられたのだらうと思う。皆さんが望んでいらっしゃる挨拶・つながりは、今私が住んでいる小川町にはあるなと気付いた。実はそういうものに支えられているんだなということも感じた。それぞれなりわいがあり、携えている目的や国籍等違いはあるわけだが、みんなが生活をする「生活者」なんだ、みんながガードを下げていいんだ、それでつながりあっていいんだ、というちょっとしばらく忘れかけていた大切なことを再度掘り取ろうとしているんだらうと感じた。地域のことをここまで考えてくると、社協に期待することもいっぱい出てくるんだなと思った。そうなるちょっと心配なのは『無理しすぎないように』ということ。いつも私は自分に言い聞かせているのだが、あまり焦って前に進みすぎようとするとな隣の人の顔も見えなくなってくるもの。本質的なこと、大切なことを、ゆっくりでも積み重ねていくと、道がどんどん広がっていくと思う。

3回の「まちづくり話し合いひろば」では、「地域のいいところ」「地域の困りごと」「6年後こうなったらいいな。地域の目指す姿」「自分・地域・団体でできること」「この地域の活動目標」「社協に期待すること」など、地域福祉活動計画策定に向けて、皆様からのご意見を頂きました。ありがとうございました。この『まちづくり話し合いひろば』は、策定だけでなく、それぞれの地域のゆるやかなプラットフォームとなるように、地域の方の手により、まちづくり、地域づくりが推進されるよう社協が継続して開催していきます。  
(総務課総務担当 井上)